

口永良部島山頂部の地盤変動

2004 年から GPS 連続観測を実施中である。山頂部のテレメータ観測点は、新岳山頂火口の北西約 200m の SDW と同南約 500m の FDK の 2 箇所である (図 1)。GPS 受信機は 1 周波型で、観測データは携帯電話回線を利用して回収している。SDW では、これまでに 4 回の膨張を検出した (図 2, 図 3 の太矢印)。前回の 2 月の報告から 2014 年 4 月 30 日までの期間では、新岳火口直下浅部の膨張を示す水平変位はみられなかった。

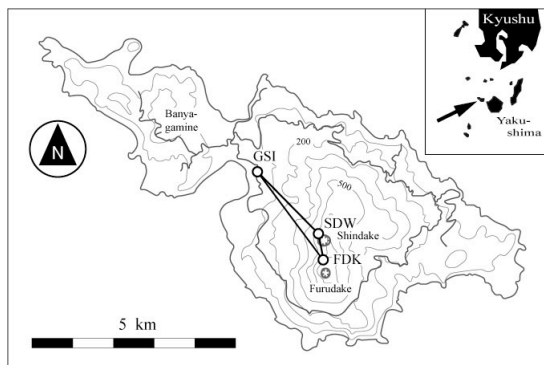


図 1 GPS 観測点及び基線配置
GSI は国土地理院の GEONET 観測点。
地形図は国土地理院の 1/5 万地形図を元にした。

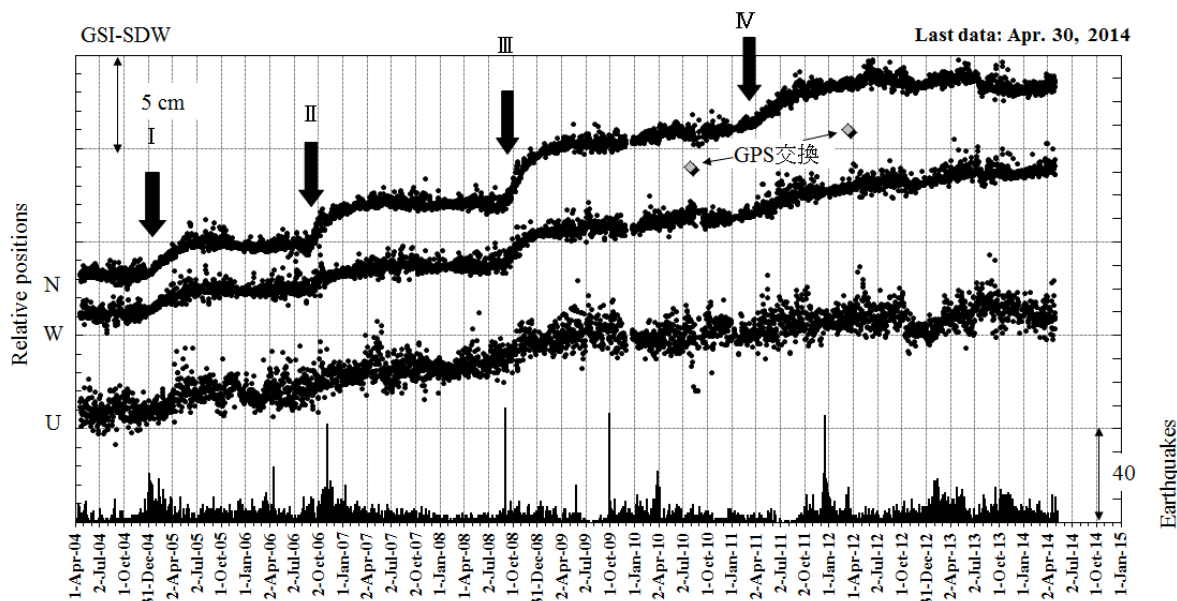


図 2 GSI-SDW の 2004 年 4 月からの 3 成分相対変位
地震数は京大防災研の計数による。

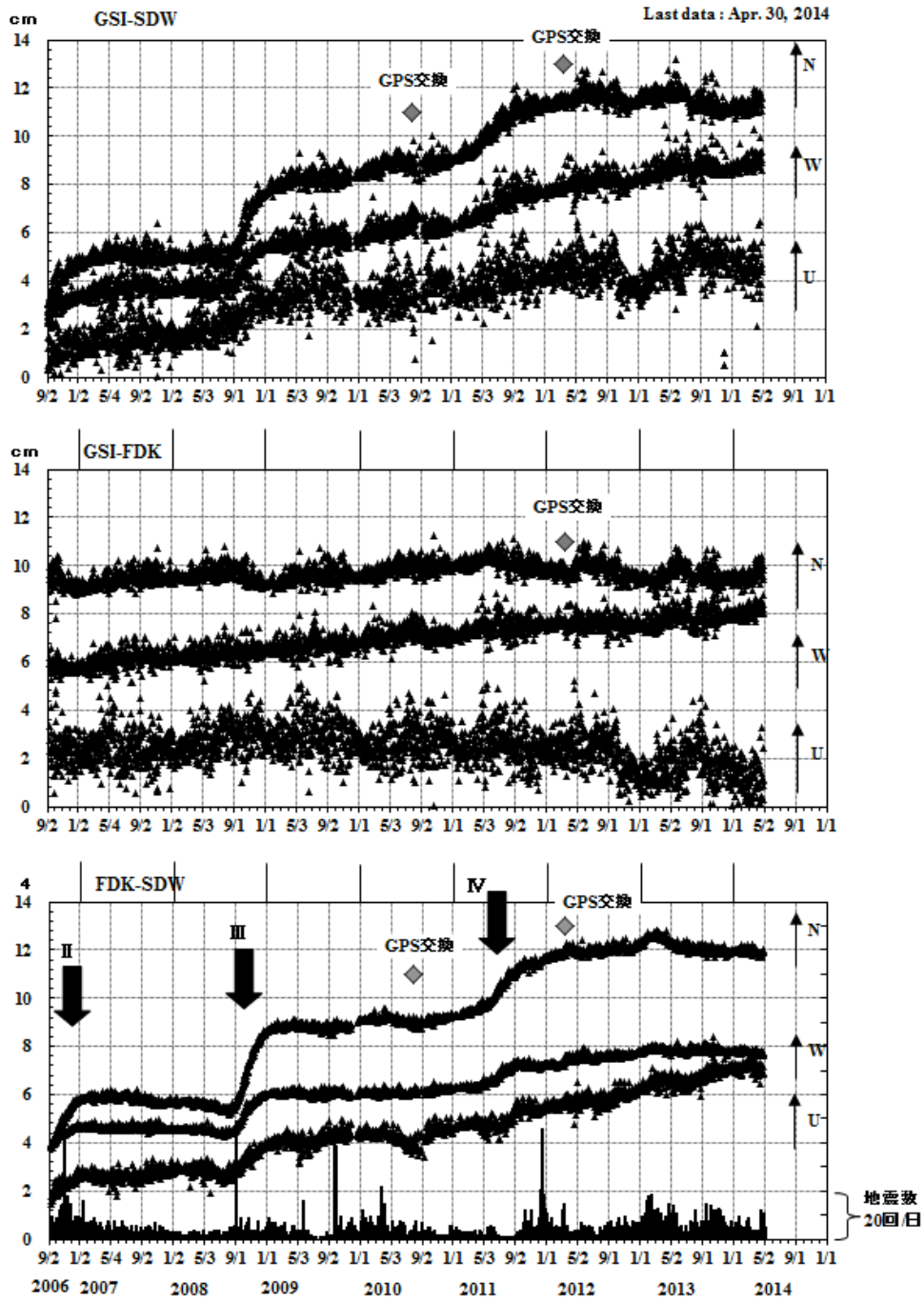


図3 GSI-SDW-FDK の2006年9月からの3成分相対変位